

平成30年8月30日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター
農業試験場 総合研究部
病害虫防除室
直通：257-6972

平成30年度病害虫発生予報第6号について

今後、発生が予想される大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生時期や発生量、防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 9月上旬～9月下旬

2 予報内容

(1) 大豆

ハスモンヨトウの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

(2) 果樹

カメムシ類の発生は**多**と予想される。飛来初期の防除を徹底する。

ハダニ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。発生源となる下草を刈り取った後、防除する。

(3) 野菜・花き

軟腐病の発生は**やや多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

アザミウマ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

シロイチモジヨトウの発生は**多**と予想される。突発的に発生する機会が多いので注意する。若齢幼虫の防除を徹底する。

オオタバコガの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。